

和光新校基本計画検討委員会（第1回）議事録

日 時 令和4年12月7日（水）15:00～16:40

場 所 和光国際高校大会議室

出席委員 栗藤委員長、松本（浩）副委員長、遠藤副委員長、岩並委員、森山委員、後閑委員、瀧嶋委員、山崎委員、山本委員、松本（悠）委員、谷津委員、大場委員、野澤委員、龍野委員、石戸谷委員

事務局 魅力ある高校づくり課 坂本、高辻

協 議 「和光新校基本計画検討（案）」について

○主な意見・質問・回答

No.	主な意見・質問・回答
1	<p>新校の基本方針に「国際に関する学科の中心的役割を担う学校」とあるが、具体的なイメージ等はあるのか。</p> <p>（回答）国際に関する学科は、和光新校の他に岩槻新校や秩父・皆野新校でも設置する予定である。例えば教材作成等について、和光新校の取組を他の新校にも波及させていくような役割を担っていただきたいと考えている。</p>
2	<p>国際に関する学科は、外国語科とは目指しているものが違うのか。</p> <p>（回答）外国語科から国際に関する学科に変わること、外国語科だけでなく、他教科の教員も、生徒に国際感覚を身に付けさせるといった視点をもって、教科指導等を行っていただきたいと考えている。</p>
3	<p>「グローバルリーダーの育成」は和光国際高校の使命であり、新校の基本理念にも同様に記載している。</p> <p>和光高校案にある「グローバル人材の育成」という表現には、リーダーも含めて様々な人材を育成することを目指す、という意味を込めている。</p>
4	<p>論点に「教科横断的な学び」とあるが、これは総合的な探究の時間に関するものなのか、それとも学校設定科目を設置するイメージなのか。</p> <p>（回答）各教科が現在取り組んでいる教育内容を、どのような形で国際に関する学科に生かせるかと考えた。学校設定科目の設置も含め、今後議論を進めていきたい。</p>

5	<p>「遠隔授業の検討」については、国際に関する学科を設置する他の学校にも伝わっているのか。</p> <p>また、「学習評価の在り方」については、教育活動の基本方針として含められるイメージが湧かないが、こういったイメージなのか。</p>
	<p>(回答)「遠隔授業の検討」については、岩槻新校や秩父・皆野新校の基本計画検討案においても論点として記載しているが、確定したものではなく、各新校基本計画検討委員会で検討していきたいと考えている。</p> <p>「学習評価の在り方」については、指導と評価の一体化という観点で御検討いただきたいという思いから、教科指導の論点として記載している。</p>
6	<p>和光高校案にある「授業時間等を工夫し、学習量の拡大を図る」については、目の前の生徒をどうやって伸ばしていくかという観点で、効果的な方法を案として示している。</p>
7	<p>和光市に一つの学校になるので、もう少し地域との繋がりを持てたら良いと思う。また、地元企業や学術機関、NGO等ともコネクションを持つことができれば、いろいろな学習活動に役立てることができるのではないかと。海外との連携などグローバルな視点も大事だが、一番身近なところで活動できる機会を用意することも大切だと考える。</p>
8	<p>英語以外の外国語教育についてはどのように考えているのか。</p> <p>(回答) 具体的な教育内容の検討は、新校基本計画が完成した後の令和5、6年度以降になる。</p>
9	<p>国際に関する学科と普通科で、学ぶ内容がどう異なるのか。現在の和光国際高校の外国語科とどう変わるのか。</p> <p>(回答) 国際に関する学科と普通科との違いについては、国際に関する科目を25単位以上履修しているか、という点で異なる。また、外国語科と国際に関する学科の違いは、外国語科の教員に限らず、他教科の先生も授業の中で国際に関する取組を取り入れたりするなどして、教科横断的な視点でグローバルリーダーとなる人材を育てていく点が挙げられる。</p>
10	<p>和光新校は、最終的には案に示されるような学校になっていくのだろう。その中で、今の和光高校の良いところが少しでも反映されればありがたい。</p>
11	<p>新校の基本計画検討案については、現在の和光国際高校がベースであるように思える。そこに和光高校が行っている取組を具体的に入れ込もうとすると、軸が定まらないのではないかと。今後の会議を進めていくに当たり、ひとまず現実的なところから検討していきたいと思う。</p>